

融雪

ONLY ONE
TECHNOLOGY 1

落雪予防の 決定版!

高発熱型融雪(LC)線材



VISCAS Corporation

LC Low Curie

高発熱型融雪線材

冬季の厳しい自然環境にさらされる送電線では、落雪による線下(家屋、駐車場、ビニールハウス等)への被害が多く発生しています。

こうした事故を未然に防ぐのが融雪(LC)線材です。強磁性線材を電線に巻付けることで、電線の電流によって生じる交番磁界により発熱し、着雪の発達段階で雪を融解します。「高発熱型融雪(LC)線材」は、従来の融雪線材よりも低潮流下での発熱量を増大し、従来、融雪に必要な発熱量がなかった送電線でも、幅広く雪害対策にご使用いただける画期的な線材です。

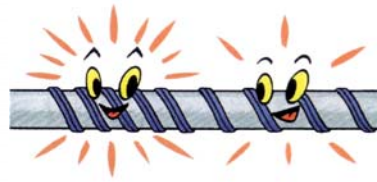
巻付けるだけで発熱!

強磁性線材を電線に巻付け、電線の電流によって生じる交番磁界により発熱・融雪するもので、熱源は不要です。



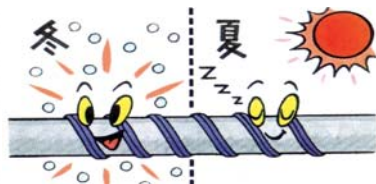
発熱量は巻付け量で調整!

巻付け量を調整することで、融雪目標に適した発熱量が設定出来ます。



冬は大きく夏は小さい発熱量!

低キュリー(Low Curie)点磁性材を使用することにより、冬季には発熱量が大きく、夏季には発熱量が低下します。



容易な取り付け!

ボルトなしで巻付けるため、取り付けは容易です。



詳細は裏面をご参照下さい

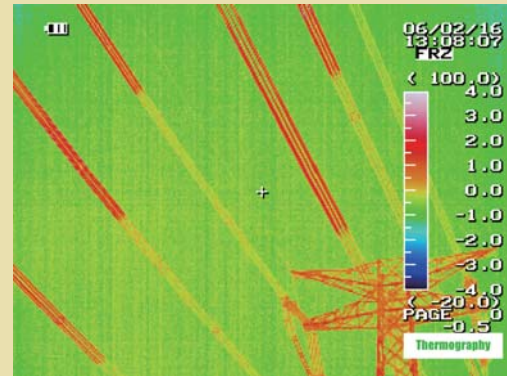
高発熱型融雪(LC)線材

高発熱型融雪(LC)線材の効果

■融雪実験状況



■実線路における発熱状況例 (サーモグラフィによる温度分布)



※赤色部分がLC線材対策箇所

LC線材の取り付け方法

■機械巻き方法

専用の巻付機でLC線材を巻付する方法。手巻き方法に比べ密巻きが可能。
巻付端部のバラケ防止のため、LC線材でできた端留ロッドを取り付けます。



電線に巻き付けた状態



端止めロッド



自走式巻付け機

■手巻き方法

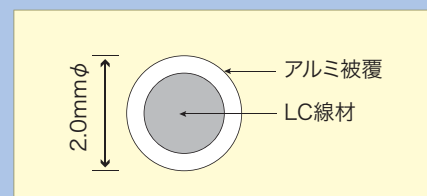
予めスパイラル状に成形されたLC線材を手で巻きつける方法。



巻き付け後

巻き付け前

LC線材の構造



▲LC線材断面図

株式会社 **ビスカス**

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー

■技術的なお問い合わせは:送電事業部技術部
Tel:03-5783-1910 Fax:03-5783-1871